

## 黒紋病（ツツジ類）

葉表に小黑点（菌体）の集団がスポット状に数カ所生じるが、黒点が葉のほぼ全面を覆うこともある。個々の小黑点は光沢があり、やや隆起して生じる。黒点が形成された部分は、葉色がうすれて黄色みを帯びる。

【病原菌】 *Rhytisma shiraianum*

【罹病樹種】 ヤマツツジ

【発生地域】 渡島



ヤマツツジ黒紋病

【防除】

被害は目立つが、ふつう秋以降に発生するため本病の影響は少ない。春、罹病落葉上に形成される胞子が、当年の感染源になると考えられるので、初冬または早春に落葉を集めて焼却するか、土中に埋める。